

(様式1)

平成26年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 146	提案機関名 湘南家畜保健衛生所
要望問題名 「楽しみ養鶏の手びき」改訂版の作成	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザ等の発生を機に、平成23年家畜伝染病予防法が改正され、すべての鶏飼養者に定期報告が義務づけられたことから、県内の養鶏場(100羽以上)が約90戸に対し、100羽未満の小規模飼養者が200戸以上と多数存在する実態が明らかになった。また、食育、趣味等のために、新たに鶏を飼育したいとの相談も寄せられている。このような小規模の飼養者に対して、基本的な飼い方については県畜産試験場が作成した「楽しみ養鶏の手びき」を参考にし、衛生管理については当所で「養鶏を始める方へ」及び「平飼いで養鶏を始める方へ」を作成して指導を行っている。しかし、「楽しみ養鶏の手引き」は昭和60年に国産採卵鶏「ノーリンクロス」の普及を目的に作成されたもので、その後、高病原性鳥インフルエンザの発生等、養鶏を取り巻く環境は大きく変化している。一方、県では、地域銘柄鶏の作出を検討している。そこで、小規模の鶏飼養者向けの手引きとして、衛生対策等も盛り込み、卵肉兼用種にも活用できるように、「楽しみ養鶏の手引き」の改訂版の作成を要望したい。	
解決希望年限	① 1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	① 農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術所 ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考 参考：「養鶏を始める方へ」「平飼いで養鶏を始める方へ」(湘南家保) 「やまがた地鶏の飼養管理マニュアル」(やまがた地鶏振興協議会・山形県畜試)	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター畜産技術所	担当部所	企画研究課
対応区分	① 実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) 地域銘柄鶏の作出をめざした鶏卵・鶏肉の高付加価値化技術の開発			
対応の内容等 当所では、地域銘柄鶏の作出を目指して国産鶏の組合せについて試験を実施しているところです。当初は卵肉兼用種の組合せを検討していましたが、現在は肉用に特化した方向で検討を進めており、平成26年度には飼養管理についての試験を実施する予定です。 これらの成績を踏まえ、県としての地域銘柄鶏推進方針が決定した際には、鶏種の特徴や飼養管理についての資料を新たに作成したいと思います。「楽しみ養鶏の手引き」改訂のご要望ですが、当所では、現在、卵用鶏の配布は実施しておらず、地域銘柄鶏の飼養に関する内容で予定していますので、ご承知おきください。なお、作成に当たり、衛生対策についてはご指導、ご協力をお願いします。			
解決予定年限	① 1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			

